

2010年度第3四半期決算説明資料

2011年1月31日

川崎汽船株式会社

A. 2010年度第3四半期決算概要

- A-1-1 決算概要
- A-1-2 決算概要(事業別売上高・経常利益)
- A-2 実績のポイント

B. 2010年度通期業績予想

- B-1 通期業績予想
- B-2 通期業績予想のポイント
- B-3-1 コンテナ船
- B-3-2 ドライバルク
- B-3-3 自動車船
- B-3-4 エネルギー資源輸送・重量物船事業

A. 2010年度第3四半期決算概要

A-1-1. 決算概要

(単位:億円)

	2010年度			2009年度	
	上期実績	3Q実績	9ヶ月 累積	9ヶ月 累積	増減額
売上高	5,204	2,415	7,619	6,130	1,489
営業損益	500	123	623	▲ 529	1,152
経常損益	428	97	526	▲ 645	1,171
当期純損益	263	69	332	▲ 620	952
為替レート	¥89.70	¥82.99	¥87.46	¥93.91	▲ ¥6.45
燃料油価格	\$468	\$475	\$471	\$386	\$85

【前年同期比】為替変動:6.45円高⇒▲45億円、燃料油価格変動:\$85/MT高⇒▲120億円

A-1-2. 決算概要 (事業別売上高・経常利益)

(単位:億円)

		2010年度			2009年度	増減額 (A) - (B)
		上期実績	3Q実績	9ヶ月 累積 (A)	9ヶ月 累積 (B)	
コンテナ船	売上高	2,407	1,050	3,457	2,690	768
	経常損益	256	57	313	▲ 626	939
不定期専用船	売上高	2,338	1,120	3,457	2,853	/
	経常損益	170	30	200	▲ 48	
その他	売上高	459	245	704	587	
	経常損益	22	19	41	29	
調整額	売上高	-	-	-		
	経常損益	▲ 19	▲ 9	▲ 28		
合計	売上高	5,204	2,415	7,619	6,130	1,489
	経常損益	428	97	526	▲ 645	1,171

(*)参考値 09年度9ヶ月累計実績は旧セグメント数値。一部区分が異なるが損益比較での影響は軽微。

A-2. 3Q累計実績のポイント

<前年同期比> 増収(+1,489 億円)・増益(+1,171億円)

損益変動要因	前年同期比	概況
為替変動	-45	平均為替レート 6.45円高
バンカー変動	-120	平均バンカー価格 \$85/MT高
市況変動	942	コンテナ船の運賃修復
営業規模	247	コンテナ、自動車の荷動き改善
コスト変動	32	—
関係会社	67	—
その他	48	—
合計	1,171	

B. 2010年度通期業績予想

B-1. 通期業績予想

(単位:億円)

	2010年度			2009年度	前期比 増減額	2Q決算発表時 公表数値		
	9ヶ月 累計	4Q 予想	通期予想	通期実績		上期	下期	通期
売上高	7,619	2,282	9,900	8,380	1,520	5,204	4,646	9,850
営業利益	623	27	650	▲ 521	1,171	500	190	690
経常利益	526	4	530	▲ 663	1,193	428	122	550
当期純利益	332	▲ 2	330	▲ 687	1,017	263	57	320
為替レート	¥87.46	¥80.50	¥85.72	¥93.04	▲¥7.32	¥89.70	¥80.00	¥84.85
燃料油価格	\$471	\$515	\$482	\$407	\$75	\$468	\$470	\$469

(単位:億円)

事業部門		2010年度		
		9ヶ月累計	4Q予想	通期
コンテナ船	売上高	3,457	993	4,450
	経常損益	313	2	315
不定期専用船	売上高	3,457	1,063	4,520
	経常損益	200	5	205
その他	売上高	704	226	930
	経常損益	41	4	45
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 28	▲ 7	▲ 35
合計	売上高	7,619	2,281	9,900
	経常損益	526	4	530

【配当計画】

年間配当10円(中間配当実績4円)

【4Q収支前提】

為替レート前提 80.50円

バンカー価格前提 \$515/MT

【4Q変動影響】

為替変動: 1円増減⇒±4億円

燃料油価格変動: \$10/MT変動⇒±3億円

B-2. 通期業績予想のポイント

< 前回公表比 > 売上ほぼ見込み通り・減益(▲20億円)

損益変動要因	前回公表比	概況
為替変動	9	平均為替レート 0.5円安
バンカー変動	-20	平均バンカー価格 \$12.6/MT高
市況変動	-33	不定期船市況軟化、コンテナ船運賃やや低下を想定
営業規模	-39	コンテナ船、自動車船の積高微減を想定
コスト変動	18	—
関係会社	12	—
その他	34	—
合計	-20	

< 前期比 > 増収(+1,520億円)・増益(+1,193億円)

損益変動要因	前年同期比	概況
為替変動	-63	平均為替レート 7.32円高
バンカー変動	-135	平均バンカー価格 \$75/MT高
市況変動	960	コンテナ船の運賃修復
営業規模	272	コンテナ、自動車の荷動き改善、バルク運航規模拡大
コスト変動	45	—
関係会社	74	—
その他	40	—
合計	1,193	

B-3-1. 部門別業績動向 コンテナ船

	前年同期比 増収・黒字転換	
	売上高(億円)	経常利益(億円)
実績	3,457	313
前年同期	2,690	▲627

・概ね想定どおりに推移

	前期比 増収・黒字転換 / 前回公表比 ほぼ見込通り	
	売上高(億円)	経常利益(億円)
今回見込	4,450	315
前回公表	4,450	320

(今後のポイント)

・閑散期における需給環境、燃料油価格の動向

		2008年度	2009年度				2010年度			
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q実績	3Q実績
売上高(億円)		5,301	862	921	906	950	3,640	1,123	1,284	1,050
経常利益(億円)		▲373	▲200	▲271	▲155	▲44	▲670	89	167	57
運賃推移 08年1Q=100	北米往航	-	71	66	70	79	-	92	107	99
	欧州往航	-	46	61	76	97	-	105	107	94
積高(万TEU)	北米往航	69.7	15.9	18.0	16.8	16.0	66.8	16.9	17.6	16.4
	欧州往航	54.7	11.1	12.1	10.3	9.9	43.4	12.6	13.1	11.8
消席率(%)	北米往航	95%	89%	98%	97%	97%	95%	99%	98%	92%
	欧州往航	94%	90%	97%	96%	94%	94%	96%	97%	95%

B-3-2. 部門別業績動向

ドライバルク



＜3Q累計実績＞ 前年同期比 増収・増益

稼動延トシ 185 百万トシ (前年同期比 +19%)

大型船市況 : 3Q前半堅調も、年末にかけて船腹需給バランスが悪化し下落

中小型船市況 : インドの鉄鉱石輸出減少を契機に12月中旬から下落

＜通期予想＞ 前期比 増収・増益 / 前回公表比 増収・ほぼ見込通り

稼動延トシ見込 250 百万トシ (前期比 +17%)

(今後のポイント)

大型船市況 : 引き続き新造船供給圧力強いが、堅調な荷動きにより、徐々に回復

中小型船市況 : 輸送距離の増加や堅調な荷動きにより、徐々に回復

バルク市況	2008年度	2009年度				2010年度					
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q見込	通期
ケープ(170型)	\$73,000	\$46,000	\$40,500	\$53,000	\$30,600	\$42,500	\$40,000	\$26,300	\$34,400	\$12,000	\$28,200
パナマックス(74型)	\$28,650	\$16,000	\$18,500	\$27,000	\$27,250	\$22,200	\$29,200	\$21,700	\$18,200	\$13,000	\$20,500
ハンディ(53型)	\$25,800	\$12,500	\$15,000	\$20,500	\$21,500	\$17,500	\$27,100	\$19,800	\$17,300	\$13,000	\$19,300

B-3-3. 部門別業績動向

自動車船



＜3Q累計実績＞ 前年同期比 増収・黒字転換

輸送台数：224万台（前年同期比 53%増）

極東出し中南米・アフリカ向けや、北米・欧州出し中国向けを中心に、荷動き堅調に推移

＜通期予想＞ 前期比 増収・黒字転換 / 前回公表比 減収・減益

荷動きは引き続き緩やかに回復

円高進行に伴う日本車輸出への影響及び燃料油高が懸念材料

		2008年度	2009年度					2010年度			
		通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績
輸送台数 (千台)	往航	1,397	325	251	226	477	802	240	254	494	272
	復航/三国間	1,083	303	258	247	505	808	311	291	602	314
	欧州域内	590	211	117	188	305	516	203	169	372	190
	合計	3,069	840	626	661	1,287	2,127	754	714	1,468	776
当社船隊規模	隻数	93	-	82	78	-	-	83	84	-	87

B-3-4. 部門別業績動向

エネルギー資源輸送・重量物船事業



【エネルギー資源輸送】

＜3Q累計実績＞ 前年同期比 増収・損失縮小

【LNG】 冬季の輸送需要増大で市況改善。当社フリー運航船は期間備船契約で安定稼働

【油槽船】 VLCC市況は11月に上昇もその後軟化、AFRAMAX市況は想定を下回る。

＜通期予想＞ 前期比 増収・損失縮小 / 前回公表比 減収・ほぼ見込み通り

【LNG】 需給環境は引続き改善傾向。

【油槽船】 荷動きは堅調だが、船腹供給圧力高く、市況本格回復までは時間を要する。

油槽船市況 (WS)	2009年度					2010年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q見込 (※2)
VLCC(中東/日本)	35	35	50	93	53	87	51	58	54
Aframax(南方/豪州)(※1)	60	60	80	127	82	116	101	101	85
クリーン7万トン型(中東/日本)	63	83	110	130	97	118	130	112	100

(※1) 2010年より南方/豪州に変更。2009年までは南方/日本。

(※2) 2010年度4Qは、2011年ベースの数値。

【重量物船事業】

＜3Q累計実績/通期予想＞ 前年同期比 減収・減益 / 前回公表比 増収・損失縮小

・リーマンショック以来停滞していた荷動きは回復基調に。

ご清聴ありがとうございました